

みなさんは外来種という言葉は聞いたことがあるが

外来種とはもともとその地域にはなくて、外から持ちこまれた生き物を「外来生物」といったり「外来種」といったりする。環境問題の一つです。

外来種が増えると生き物のかん境にえきょうがてます。

資料1は在来種のモツゴを食する外来種のおオクチ

バスです。外来種が在来種をどんどん

食べてしまい、在来種がなくなるとして

まう心配があります。また在来種のすむ

場所や食べものがうばわれてしま

り、環境が壊され、災害の原因に

なりました。別の種類の生きものどうしが交尾して純すい

な遺伝子をもつ在来種が減り、絶滅してしまったりすること

があります。他にももともとない寄生虫やウイルスを運んできた

新しい病気を運んだり、人間にかみついたりひびいたりすること

もあります。さらに産業に被害をおよぼします。

では、外来種問題はなぜ起ころうでしょうか。

外来種は飼育のためや食用にするたから来た!

ぬ衣服にするためまた、農業のためや趣味

味や娯楽のため害獣対策のために世界

中から日本に持ちこまれたものです。知らないう

ちに運ばれてしまったこともあります。資料2

資料2

外来生物は世界中



(外来生物ずかんより)

(外来生物ずかんより)

を見ると世界の色々な場所から日本に外来種が持ちこ  
まれたことがよくわかります。

それでは外来種を増やさないためにはどうしたら  
よいのでしょうか。資料3からは外来

生物を国外から入れない。育  
っている外来生物を捨てない。

逃がさないで最後まで育てる。  
すでに野外に定着している

外来生物の分布をそれ以上、  
ひろげないことなどが大切だということがわか  
ります。次頁料4はペットとしてかわられてい

たアライグマが捨てられ、民家や  
神社にすみついてしまった写真

です。北山東部地区でも増えて  
いると聞きます。例えば、かてい

生きものを絶対に捨てない  
ようにすることが外来種問題

を解決することにつながります。これならわたしたちにもできるの  
ではないでしょうか。

地球のかん境を守ることは自分たちのくらす場所を守る  
ことです。ふだんの生活の中かうてできることをやがして積極的

に取り組んでいきましょう。

外来生物被害予防三原則



神社の屋根裏にすみつ  
いたアライグマ。屋根裏  
は荒らされ、ふんで汚さ  
れ、柱にはつめあとがつけ  
られてしまった。

民家や神社、  
寺などに侵入する

(外来生物  
ずかんより)



民家の屋根裏で休む  
アライグマ。

(外来生物ずかんより)